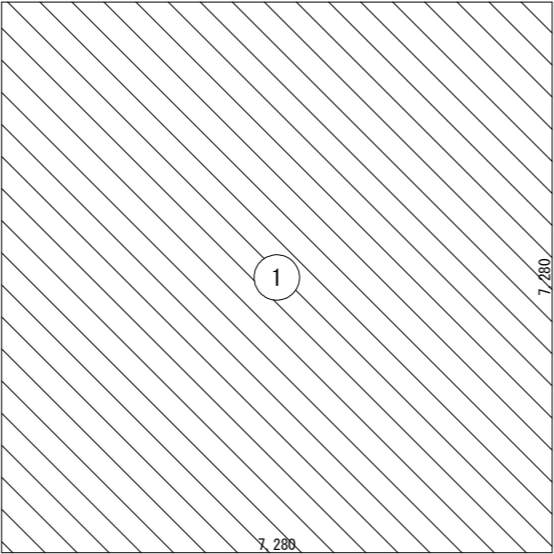
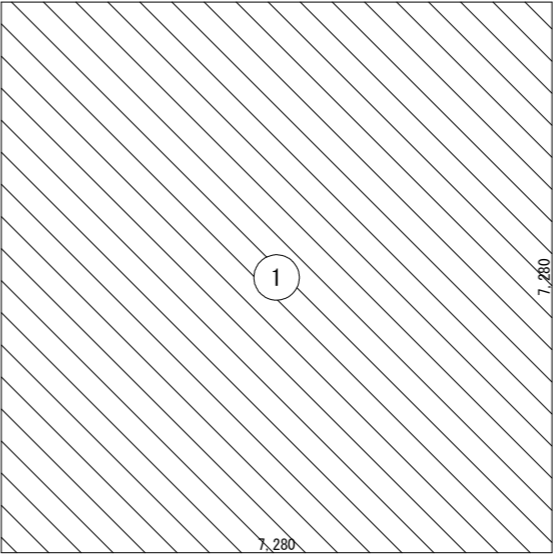


建物諸元	
建物名称	スタイルデザイン（カフェ）新築工事
平面単位モジュール	910.0
階数	2
屋根	重い屋根
多雪区域	外
地震地域係数 Z	1.0
基準法の床面積 m ²	
1 階	53.00
2 階	53.00
延床面積 m ²	106.00
性能表示の壁量計算用床面積 m ²	
1 階	53.00
2 階	53.00
屋根勾配	0.4
立面上の屋根厚さ	180.0
階高 mm	
1 階	2790.0
2 階	2691.0
軸組階高 mm	
1 階	2790.0
2 階	2730.0
目標等級	
耐震等級（倒壊防止・損傷防止）	2
耐風等級	1
耐積雪等級	－

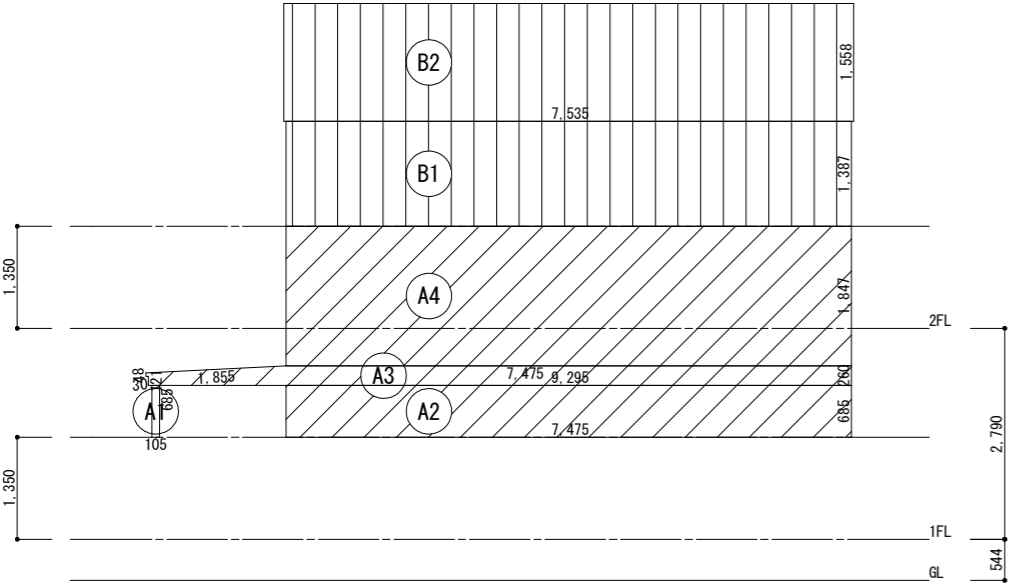


1 階床面積算定図

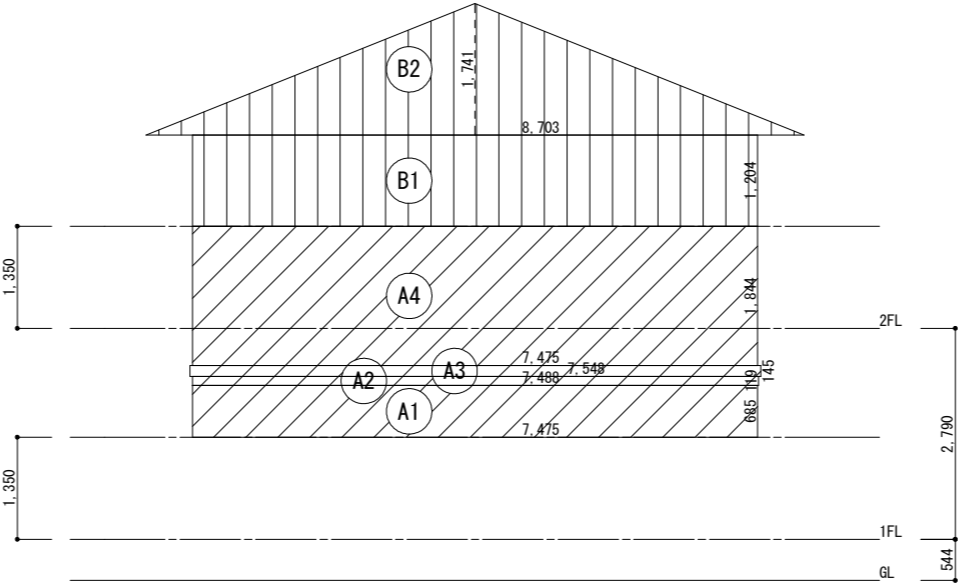


2 階床面積算定図

床面積表				単位	m ²
階		面積		計	
2	①	7,280 × 7,280	52,998400	53.00	
1	①	7,280 × 7,280	52,998400	53.00	



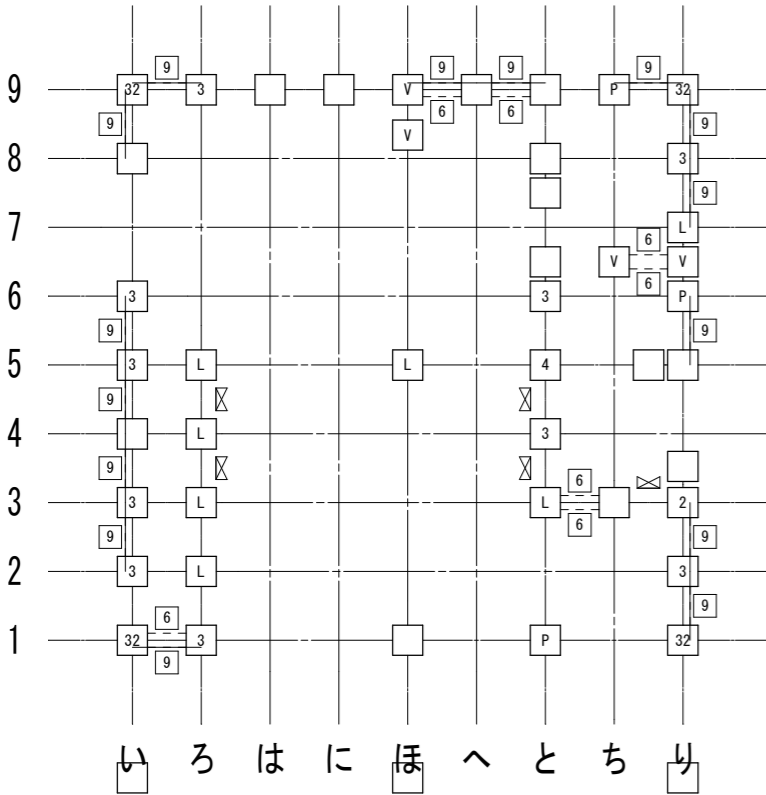
X 方向（東面）見付面積算定図



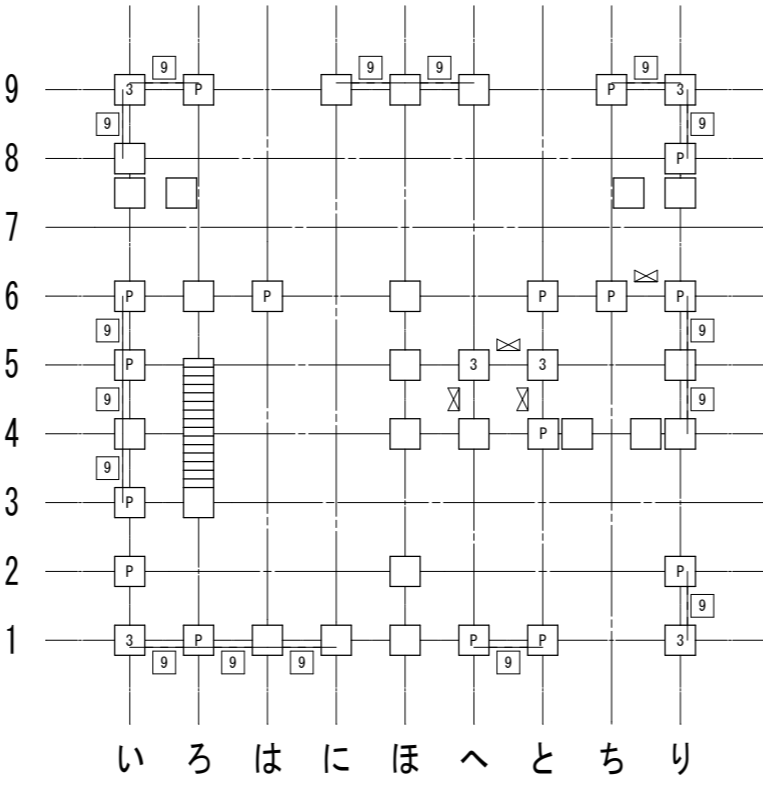
Y 方向（南面）見付面積算定図

見付面積表						単位	m ²
方向	階		面積		計	累計	
X	2	Ⓐ1	7,475 × 1,387	10,367825	22.11	22.11	
		Ⓐ2	7,535 × 1,558	11,739530			
	1	Ⓐ1	0,105 × 0,685	0,071925	21.33	43.44	
		Ⓐ2	7,475 × 0,685	5,120375			
		Ⓐ3		2,328044			
		Ⓐ4	7,475 × 1,847	13,806325			
Y	2	Ⓑ1	7,475 × 1,204	8,999900	16.58	16.58	
		Ⓑ2	8,703 × 1,741 ÷ 2.0	7,575962			
	1	Ⓐ1	7,475 × 0,685	5,120375	20.89	37.47	
		Ⓐ2	7,488 × 0,119	0,891072			
		Ⓐ3	7,548 × 0,145	1,094460			
		Ⓐ4	7,475 × 1,844	13,783900			





1 階柱壁伏図



2 階柱壁伏図

性能表示必要壁量算定表 単位 m				
床面積(地震力)に対する必要壁量				
階	方向	床面積	乗ずる数値	必要壁量
2	X	53.00	0.343	18.179
	Y			
1	X	53.00	0.580	30.740
	Y			

性能表示存在壁量算定表 単位 m				
階	方向	壁量	準耐力壁等壁量	存在壁量
2	X	25.480	0.000	25.480
	Y	25.480	0.000	25.480
1	X	30.940	0.000	30.940
	Y	37.310	0.000	37.310

床面積(地震力)に係る条件	
■ 壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)	
□ 屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)	
地震地域係数 Z 1.0	
□ 多雪区域	
□ 勾配低減	
Rf=2階床面積/1階床面積=1.000	
K1=0.4+0.6Rf=1.000	
K2=1.3+0.07/Rf (Rfが0.1より小さい場合2.0)=1.370	
1 階乗ずる数値=0.580K1	
2 階乗ずる数値=0.250K2	

性能表示壁量判定表 単位 m					
階	方向	存在壁量	耐震		
			必要壁量	判定	壁余裕度
2	X	25.480	18.179	OK	1.40
	Y	25.480	18.179	OK	1.40
1	X	30.940	30.740	OK	1.00
	Y	37.310	30.740	OK	1.21

接合部凡例 *接合部凡例はユーザ設定されたものです。			
記号	仕様		倍率
(い)		短ほぞ差し、かすがい打ち	0.00
(ろ)	N	長ほぞ差し込み栓打ち	0.70
(ろ)	L	L字型金物	0.65
(は)	V	V字型金物	1.00
(は)	T	T字型金物	1.00
(に)	P	羽子板ボルト	1.40
(に)	I	短冊金物	1.40
(ほ)	Ps	羽子板ボルト+スクリュー釘50	1.60
(ほ)	Is	短冊金物+スクリュー釘50	1.60
(へ)	2	10KN用引き寄せ金物	1.80
(と)	3	15KN用引き寄せ金物	2.80
(ち)	4	20KN用引き寄せ金物	3.70
(り)	5	25KN用引き寄せ金物	4.70
(ぬ)	32	15KN用引き寄せ金物×2	5.60
(る)	J1	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物	1.90
(を)	J2	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物×2	3.00

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
	筋かいの種類	接合部の仕様（構造方法）
イ	鉄筋φ9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90, 8本平打ち
ロ	筋かい:15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65, 5本平打ち
ハ	筋かい:30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びCN65, 3本平打ち、柱に対してCN65, 3本平打ち、横架材に対してCN65, 4本平打ち。筋かいプレートBP同等品
ニ	筋かい:45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びスクリュー釘φ4.5L50, 7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘φ4.5L50, 5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品
ホ	筋かい:90×90	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合

胴差と通し柱の接合部の仕様		
	胴差と通し柱の条件	仕口
T1	通し柱の片側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2	通し柱の両側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、短冊金物又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結
T3	通し柱と胴差の接合部の近くに90×90以上の筋かいが来る場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に、15KN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結

凡例						
記号	壁の構造（ 1 ） 壁の構造（ 2 ）			筋かいの構造		倍率 N 値用
W4	☒			木材45×90たすき掛	4.00	4.00
W6	☒	J A S 構造用合板	2.50	2.50	2.50	2.50
*W9	☒	ダイライト	2.50	2.50	2.50	2.50

*は任意の仕様であることを示しています。